

初めてお便り拝見しました。
スタッフのお顔も掲載されており、楽しそ
うな雰囲気が紙面から伝わってきました。
年金生活で毎回は購入出来ませんが
お宝だ!と思う商品が出ていたら
大名さんへご連絡させていただきます。
ありがとうございました。

群馬県 S様より

お便りいただきました

コメントありがとうございます。
弊社の雰囲気が伝わりとても嬉しいです。
S様に、これはお宝だ!と感じてもらえる
ようなお品をご提供してまいります。
今後ともどうぞよろしくお願い
いたします。

ハナエモン



毎号楽しみにして読んでいます。
編集スタッフさんが、日本文化を
大切にしている事が伝わってきます。
日本武具類は、徳川幕府終焉を以て
変貌しますね。
頑張ってください。

広島県 M様

いつもニュースレターを読んでいただきありがとうございます。
そうですね。戦に使われる武器が変化して
いったからでしょう。武将たちの想いのある鎧たち、
その時代、時代を武将と共に生きている感じがして
私はとても好きです。M様もお好きでしょうか?
はい!これからも、もっと素晴らしい
日本の、日本にしかない文化を発信
していけたらと思っております。
これから「おお〜」と思っていける
ような記事編集頑張ります!

島谷



いつも思うのは、女性の記事が多いのが意外
です。歴女は聞きますが、骨董はなかなか女性
には受け入れられない範疇かと思っています。
妻は骨董、特に刀剣は怖いと言います。否定的です。
受け入れてもらう方策があれば、記事に掲載し
て頂きたいです。御社が近場ならば頻繁に訪
れたいところです。

東京都 Y様

コメントありがとうございます。
私も最初は歴史や骨董品にはあまり興味
がありませんでした(汗)ですが、商品の
時代背景や先人達の想いのこもった古美
術品に触れる事で、興味を持ち始めまし
た。「届けますっ!大和魂」を通して多くの
女性の方にも、興味を
持ってもらえるような
記事作りを心掛けて
いきます!!

中堀



今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。

件名:ニュースレター返信
と入力して送信して下さい。



最新情報は
こちらから

ホームページ <https://daimyou.com/>

広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp

TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

有限会社

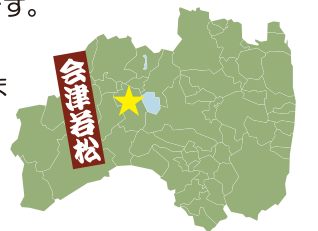
大名

経営理念

有限会社大名は「届けますっ!大和魂」を合言葉に
日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の
趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します



こんにちは。中堀明美です! 過ごしやすい季節になりましたね。秋といえばスポーツです。
夏に開催されたパリオリンピック・パラリンピックは、ご覧になられましたか?
オリンピックという大舞台で日本を背負い、正々堂々と戦っている姿に本当に感動しま
した。私の息子(大志)が柔道を習っている事もあり、特に柔道の応援は
燃えました!!日本がオリンピックで盛り上がっている中、遠征試合で
福島県の会津若松に行ってきました~!!



柔道の始まりは...

かのう じごろう

嘉納治五郎(1860-1938年)が創始者と言われています。体格に恵まれなかつ
た治五郎は、いじめに苦しみました。そんな時に出会ったのが「柔術」でした。



少年期から青年期にかけて柔術の修業に没頭していきました。そして、「柔よく剛を制す
(柔弱な人が強者に勝つ)」を使って、相手をただ倒したり、むやみに威圧したりするために使
うのではなく、自らが持つ柔道の力を、自分の周りや社会のため教育、平和に役立てようと生
涯をかけて奔走しました。1882年(明治15年)柔道の総本山・講道館を設立しました。日本の

みならず、世界へも普及させ数々の偉業を成し遂げました。弟子の中に、「講道館四天王」と
呼ばれた、横山作次郎、山下義韶、富田常次郎、西郷四郎がいます。その中の一人、四郎は会
津若松で生まれ、病氣療養で尾道に来ていましたが57歳という若さで亡くなりました。そんな
ご縁もあり、会津若松市、尾道市で3年に一度、少年親善柔道大会が行われて
います。今年は尾道の生徒が会津若松に行きました。四郎は小柄ながらも頭角
を現し、独自の投技「山嵐」で強豪たちを圧倒し、講道館の発展に貢献しました。
会津藩の家老であった西郷頼母(四郎父)の邸宅を中心に、復元または移築
された歴史的建造物が建ち並ぶ会津武家
屋敷に行き、歴史を学びました。



柔道是对戦相手だけでなく、自分が持つ弱い心との戦いです。
礼儀をしっかり学びながら日々の鍛錬を怠らず、身体と
精神共に強くなって欲しいです。

息子の柔道人生をしっかりと応援していきたいと思ひます。
西郷四郎の様に強くなれますように...



投げ技「山嵐」

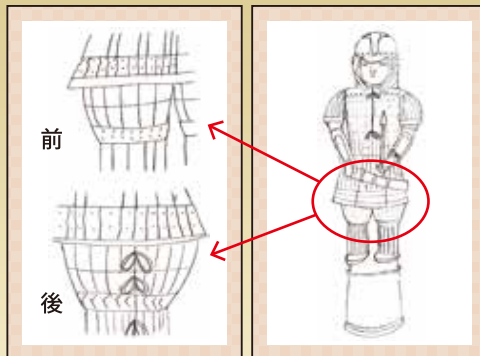


3連勝で
最優秀選手に選ばれて、
表彰されました!!



こんにちは、島谷貴子です。暑い日が続きますね、皆様お変わりはありませんか？今号は前号に引き続き腕や手、足を守る「籠手/佩楯/脛当」について語らせて頂きます。

佩楯(膝鎧)とは？



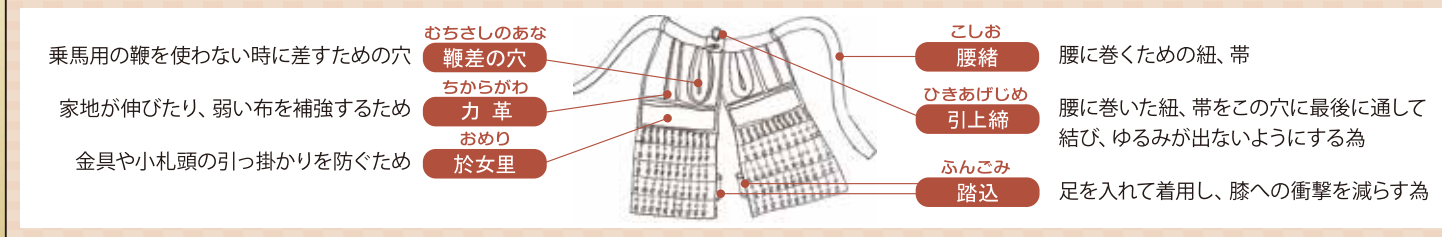
草摺の下に当たる足の部分から、膝頭までを守る為の防具で、膝鎧とも呼ばれています。古墳時代の「武人埴輪」にも表現されており古墳時代からあったとされています。



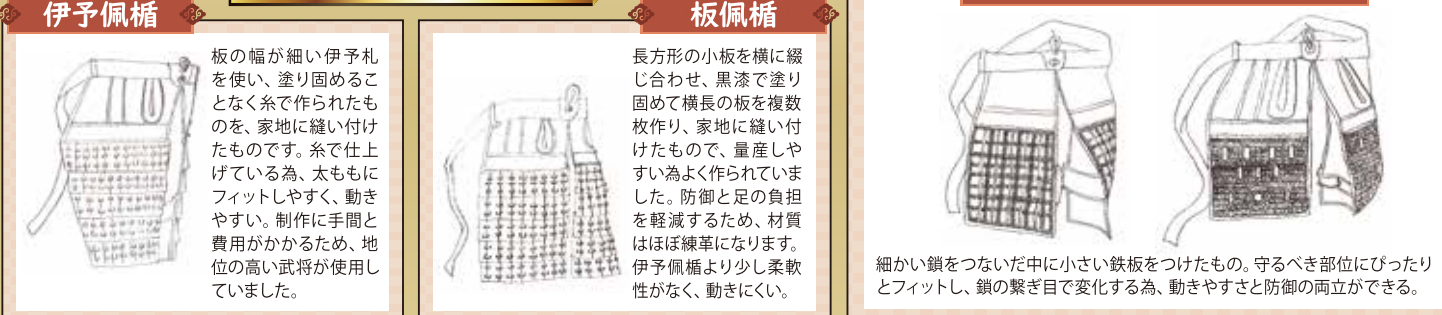
南北朝時代から室町時代にかけて、小袴式(袴に鉄金具が縫い付られたもの)が流行しました。遺物は残ってはいませんが、「鎖袴」といい、後に「小田佩楯」とも言われています。



遺物として最も古いものは、室町時代のもので、「宝幢佩楯」と呼ばれるものです。寺院で用いられる宝幢幡に似ていることから、その名前がつけました。上半分と下半分の作りが違い、最後の部分が3つに分かれた形になっています。守るべき膝回りに隙間がある為、歩兵戦には向いていませんでしたが、馬に乗る時には動きやすく、馬上戦によく用いられました。室町時代末期頃からは、戦の為に改良された「当世具足」には必要不可欠な部品となったため、江戸時代前期まで色々な種類の佩楯が流行していききました。



よく作られていた形は？



戦闘中に攻撃されると、動けなくなり、死に直結する恐れのある太股を守る為の佩楯。古くは古墳時代よりあり、なくてはならない部品だったことが分かりました。そして戦によって、軽さや柔軟性、かつ防御性を考慮されていることも分かりました。私は、シンプルな越中佩楯が好きです。皆様はいかがでしょう？次回は脛当を語らせていただきます。



ハナエモンの

ターイムスリップ!

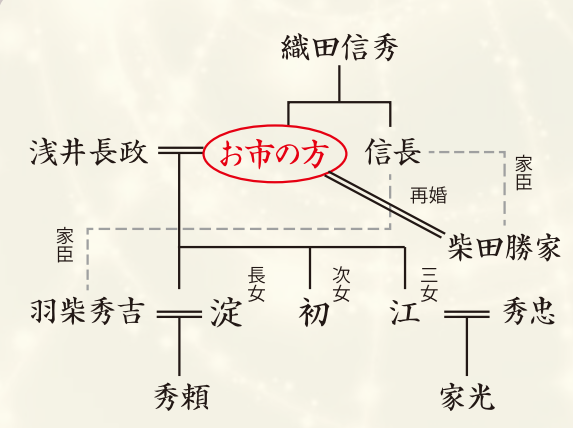


前号の源平三大美人に続いて、今号は戦国三大美人のこの方にターイムスリップしていきます。

織田信長の妹 おいちのかた

お市の方

(1547-1583年)



戦国一の美女と謳われたお市の方。兄である信長が浅井家と同盟を結ぶ為、お市の方を輿入れさせます。政略結婚ではあったものの、夫婦仲は良く3人の娘に恵まれます。しかし、信長が浅井家と同盟関係にあった朝倉家を攻めたところから、お市の方の周りも不穏な空気になっていきます。



夫と死別

織田家と朝倉家が争うことで板挟みになってしまった浅井家は、朝倉家の味方をする事を決心します。

同盟の人質でもある、お市の方は離縁されることもなく、殺されることもありませんでした。

そして、浅井家が滅ぼされる直前に夫である浅井長政はお市の方(26歳)と3人の娘達の命を救う為、城から逃れさせます。

二度目の落城

兄である信長が本能寺の変で明智光秀に討たれ、羽柴秀吉が明智光秀を討ち、敵討ちを果たします。

織田家の重臣達で所領や今後の方針について話し合いを行います。(清洲会議) その会議の中で、筆頭の重臣だった柴田勝家にお市の方(35歳)が嫁ぐ事になります。

しかし、その数ヶ月後、柴田勝家と羽柴秀吉が対立し、柴田勝家が敗れてしまいます。二度目の落城となるお市の方は3人の娘達を逃れさせ、柴田勝家と共に死ぬ事を決断します。



両家が争うことになっても殺されなかったのは、夫婦関係が良好だったからでしょう。信長は義弟の裏切りに相当腹を立てたらしく、長政の頭蓋骨に金箔を貼り、盃として酒を飲んだそうです。そんな話を聞いたお市の方はどんな気持ちだったのでしょうか・・・。



柴田勝家はお市の方に城から逃れるように伝えたが、お市の方が拒絶したそうです。最後の夜、天守閣で80名余の一族、重臣達と夜通し宴会をし、その後自害したそうです。兄、夫、兄の家臣達、戦国時代に翻弄され続けた戦国一の美女。お市の方の長女淀は秀吉の側室として豊臣秀頼を産み、徳川家康と争い亡くなってしまいます。三女江は徳川秀忠に嫁ぎ、徳川家光を産み、260年も続く江戸幕府の礎になります。ちなみに、江の血筋は昭和天皇にまで繋がっています。

